

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 環境活動（プラスチックのリサイクル）と人道支援（ポリオワクチンの低開発国援助）を兼ねたエコキャップ活動に積極的に取り組み、地域に溶け込む結果となった。 毎月、交流する保育園からは誕生日会への招待がある。	評価
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 2ヶ月に1度の運営推進会議が開かれている。通常はホーム内の事務室で開催されるが、7月は祭りに併せて実施し、会議メンバーがボランティアとして祭りのスタッフに加わった。	評価
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4） ホームイベント時の備品の調達や、不足している車いすの無料貸付け、町の広報CDの貸付け等、多くの場面で市の協力を得ている。町の規模も小さく、担当者とは密な関係が作られている。	評価
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族会には、利用者の家族が全員集まる。事業計画や会計報告、方針の伝達等、家族にとっての重要な情報が伝えられ、家族からも意見が出される。ホーム内の清掃等、家族の意見で改善された例も多い。 手書きの便りが担当者によって作成されており、細かな点まで家族に報告されている。	評価
重点項目	その他軽減措置要件 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>狭い事務室を会議の会場としていることから、運営推進会議のメンバーを少数に限定している。各方面から、より多くの意見を集めるためにも、会場をホールに変更し、会議メンバーの増員を検討されることが望ましい。</p>
--

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。